

# 平成 30 年度事業計画書

平成 30 年 4 月 1 日から  
平成 31 年 3 月 31 日まで

公益財団法人味の素ファンデーション

## I. 基本方針

1. 広く社会の賛同と協力を得ながら、食を通じた栄養改善に関する事業を通じて、わが国はもとより世界各国の重要な社会的課題の解決に寄与する。
2. この法人の管理運営の基盤を確立する。

## II. 平成 30 年度事業計画

### 1. 被災地復興応援事業(東北復興応援 健康・栄養セミナー「ふれあいの赤いエプロン」プロジェクト)

#### (1) 目的

東日本大震災の被災地である東北3県をはじめとした被災地において、幅広く様々な環境や年齢の方を対象として、本法人が有する食と栄養の知見を基盤とした情報提供や「いっしょに作って、いっしょに食べる」体験型の健康・栄養セミナーの提供により、食を通じた生活の改善および被災地のコミュニティづくりを支援することを通して、公共の福祉に貢献する。

#### (2) 活動概要

- 1) 地域ごとに行政、社会福祉協議会、NPO 法人などの非営利団体に呼び掛け、そのニーズに応じて、移動式調理台の設備を用いた参加型の健康・栄養セミナーの開催のサポートを行う。本法人は、企画運営のノウハウの支援、ならびにメニュー・レシピの開発・提供、機材の貸与、食材の提供、ボランティアの募集等のサポートを行い、主催と運営の主体は、前記の団体等が担う。
- 2) 自立支援の一環として、本法人の現地駐在要員が直接的に参加しないでも、本セミナーを現地 NPO 法人や地域の自治会などの団体が、継続的に自主運営することが可能になるよう、運営ノウハウを継承し、実施を促進する。現地団体が自主開催・運営をする場合、本法人はメニュー・レシピを開発・提供し、必要に応じて食材費などを負担する。

#### (3) 具体的活動

- 1) 一般向け健康・栄養セミナー
  - (a) 回数:245 回(この内自主運営回数 60 回)
  - (b) 地域・場所:東北3県をはじめとした被災地における主に応急仮設住宅や復興公営住宅の集会所
  - (c) 参加者(属性及び人数):主に応急仮設住宅および復興公営住宅居住者(4,000 名)
  - (d) 費用:42,270 千円

- 2) 男性向け健康・栄養セミナー「男の料理教室」
  - (a) 目的: バランスの悪い食生活やアルコール依存症の増加が指摘されている男性において、食を通じた栄養の改善と、コミュニティづくりを支援する。
  - (b) 回数: 75 回
  - (c) 地域・場所: 東北3県をはじめとした被災地における主に応急仮設住宅や復興公営住宅の集会所
  - (d) 参加者(属性及び人数): 主に仮設住宅および復興公営住宅居住男性(1,000 名)
  - (e) 費用: 12,700 千円
- 3) 幼児向け健康・栄養セミナー「あじのひみつ授業」
  - (a) 目的: 幼児向けに五味(甘み、酸味、塩味、苦味、うま味)の説明と、うま味の試飲(だしとみそ湯の比率を順に変えてうま味を実感する)の体験学習を行い、大人になってからの食生活や栄養に対する意識や習慣の向上を支援する。
  - (b) 回数: 20 回
  - (c) 地域・場所: 東北3県をはじめとした被災地における主に保育所
  - (d) 参加者(属性及び人数): 保育所の園児(450 名)
  - (e) 費用: 1,510 千円

## 2. 低所得国栄養改善事業(ガーナ栄養改善プロジェクト)

### (1) 目的

低所得国では、栄養不足の問題は深刻な社会問題となっており、特に「最初の 1000 日」と呼ばれる妊娠期から 2 歳齢までの時期の栄養不足は、子供の成長不良、知的能力の発達遅延、免疫系の発達不良などの問題を引き起こし、その影響は一生にわたって取り返しのつかない悪影響を及ぼすことが知られている。

本事業では、西アフリカ・サブサハラ地域ガーナ共和国において、現地の離乳食に不足しがちな栄養素を配合した食品の研究、開発、製造、販売および母親への栄養知識の啓発普及を通して、離乳期の子供の健全な発育のための栄養改善を支援することで、公共の福祉に貢献する。

### (2) 活動概要

- 1) ガーナ大学、現地の生産会社・販売会社、国際的 NGO などと連携して、現地の離乳食に不足しがちな栄養素を配合した食品「KOKO Plus™」の研究、開発、製造、販売、母親への栄養知識の啓発普及の仕組み・体制を構築し、栄養改善に貢献する持続可能なソーシャルビジネスモデルづくりを行う。
- 2) 現時点で本プロジェクトは研究ステージにあり、ガーナ大学が委託元となって製造委託を行っている。将来的なソーシャルビジネスモデルづくりへの移行を目指して、本法人の主体性を強化すべく、平成 30 年度からガーナに NGO 法人を設置するなどの検討・準備を始める。

### (3) 具体的活動

- 1) 「KOKO Plus™」の品質保証および生産管理  
ガーナ大学が、製造委託先の生産サポートを行うとともに、製造した製品の成分分析および出荷判定、栄養啓発活動をモニタリング・評価し、改善のためのアドバイスを行う。  
(費用:約 28,230 千円)
- 2) 母親向け栄養知識の啓発および、栄養食品「KOKO Plus™」の販売および普及活動
  - (a) 現地ソーシャルマーケティング会社 EXP およびその NGO 団体 ESM への業務委託を行う。  
(費用:約 50,000 千円)
    - a) 小売店への「KOKO Plus™」直接販売
    - b) 母親への栄養知識啓発および「KOKO Plus™」の普及プロモーション
  - (b) 保健所や病院において、公的機関であるガーナヘルスサービス(GHS)が行う母親向けの栄養教育の場で、本法人が制作した教材を看護師・栄養士が使用する。「KOKO Plus™」の普及を併せて行い、母親の行動変容を促進し、栄養改善の効果を高める活動を行う。(費用:約 4,907 千円)
- 3) 国際 NGO 団体 CARE international との連携による北部農村地域での栄養知識啓発および「KOKO Plus™」普及する。(費用:13,500 千円)
- 4) 市場浸透調査等および国際機関からのファンド獲得のための活動を行う。  
(費用:11,452 千円)

## 3. 食と栄養支援事業(食と栄養国際支援プログラム(\*AIN プログラム))

**\*AIN プログラム:Ajinomoto Foundation International Program for Nutrition**

### (1) 目的

アジア・アフリカ・南米などの低所得国の中で、特に食、栄養、健康に改善すべき課題を抱える地域の人々に対する貢献を趣旨として、その支援や問題解決に向けたプロジェクトを実施する団体に対し、資金の助成および持続的な事業推進のためのノウハウの支援を行う。これによって、対象となる人々の生活の質の向上を通じて公共の福祉に貢献する。

### (2) 活動概要

新規申請団体を年一回公募し、外部専門家からなる本法人の「食と栄養支援委員会」による審査を経て、助成団体を採択し、1年から3年にわたる資金助成およびノウハウ支援を行う。

既存の助成団体から中間報告および視察モニタリングを行い、同委員会で助成の継続可否を毎年決定する。

## (3) 具体的支援団体および助成金

平成 30 年度助成総額 28,153 千円(うち継続 8 団体 21,852 千円、新規 3 団体 6,301 千円)

	実施国	実施団体	プロジェクト名	期間 (年度)	助成額
継続 8 事業	インド	チームピースチャレンジャー	学校給食を通して貧困村の栄養改善を行うプロジェクト	2016～ 2018	2,559 千円
	バングラデシュ	(一財)アライアンス・フォーラム財団	食物へのアクセス制限がある塩害地域の子どもの栄養改善プロジェクト	2016～ 2018	2,424 千円
	バングラデシュ	(特非)アジア砒素ネットワーク	思春期女子の栄養改善と健康推進プロジェクト	2016～ 2018	3,000 千円
	ミャンマー	(特非) CWS Japan	ミャンマー連邦共和国エーヤワディ地域マウビン・タウンシップにおける家庭菜園や小規模家畜飼育の普及を通じた5歳未満児の栄養改善事業	2016～ 2018	2,774 千円
	カンボジア	(特非)かものはしプロジェクト	カンボジアにおける健康・栄養のための行動変容を促すライフスキルトレーニング展開事業	2017～ 2019	2,848 千円
	ケニア	(特非)HANDS	ケニアのコミュニティで育む幼児の成長および栄養改善事業	2017～ 2019	2,866 千円
	ネパール	NPO 法人 YouME Nepal	標高 2000m のネパール大秘境・コタン郡を食で豊かに！YouMe Khaja プロジェクト	2017～ 2019	3,000 千円
	ラオス	(特非)ISAPH	ラオス国農村部食生活改善プロジェクト	2017～ 2019	2,381 千円
新規 3 事業	カンボジア	(特非)シェア国際保健協力市民の会	子どもの栄養改善 1000 日アプローチプロジェクト	2018～ 2020	2,690 千円
	アフガニスタン	(公社)SVA シャンティ国際ボランティア会	アフガニスタンにおける子どもの食育推進事業	2018～ 2020	615 千円
	ガーナ	GIFT(Glasscutter Initiative for Rural Transformation)	ガーナにおける住民の栄養改善を目指した新規家畜グラスカッターの飼育プロジェクト	2018～ 2020	2,996 千円

#### 4. 低所得国での栄養士制度創設事業(ベトナム栄養士制度創設プロジェクト(\*VINEP))

##### \*Vietnam Nutrition System Establishment Project

###### (1) 目的

日本で過去、栄養士が国民の栄養改善の推進役として育成され、社会的地位をもって多数が活躍したように、ベトナム国においても栄養士が育ち、同様の活躍と貢献ができる制度を創設するプロジェクトを日越の官民学協同で推進し、栄養教育や栄養バランスが適正な食事メニューの開発や提供を通じて、国民の衛生と健康向上に貢献する。

###### (2) 活動概要

これまでの活動で、ハノイ医科大学に最初の4年制栄養学士コースが設置され、栄養士の職業分類が法制化された。今後はより具体的な栄養士活動指針(Nutrition Standard)を確立する必要がある。これを実現すべく、日本の専門機関で習得し、ベトナムで応用、制度化できるリーダー層を育成する。

###### (3) 具体的活動

- 1) ベトナム国立栄養研究所(National Institute of Nutrition)において、実習や研修を行うセンター(仮称:National Nutrition Laboratory)への運営費を支援する。(費用:3,000 千円)
- 2) ベトナムの医師および食品衛生管理者などを対象としたインターンの日本の大学および病院への受入れ研修を実施する。(費用:6,000 千円)
- 3) ベトナムの医師および食品衛生管理者などを対象としたワークショップを2都市(ホーチミン市およびカンター市)で開催する。(費用:2,400 千円)
- 4) ベトナム栄養士会のウェブサイト開設等、設立のための準備を行う。(費用:600 千円)
- 5) 病院向け食事メニューソフトを開発する。(費用:3,300 千円)

以上